

大学における産学連携機能の充実強化に関する検討会(議論のまとめ)

「イノベーションシステムにおける大学の研究成果の活用推進に資する技術移転機能等の最適化に向けて」(概要)

① 現状・課題

【大学に求められる役割】

○大学は、イノベーションシステムの根幹として、**研究力の向上と研究成果の社会還元**の充実に資することが求められている。

【研究成果の活用に係る現状と課題】

○イノベーション創出の上で、**知財は必要不可欠な存在**。
知財の主な活用方策は、共同研究、ライセンス、大学発ベンチャー創出。このうち共同研究は、「組織」対「組織」の本格的共同研究を通じてオープンイノベーションを推進。

○しかし、**知財収入の観点からは、保有する研究資源に照らして、知財活用が不十分な大学が各地に存在**。

(原因) 戦略面での知財戦略・技術移転マネジメントの不全
実施面での技術移転機関(TLO)等の活用効率

○大学の知財の産業技術への応用展開を担うTLOの中には、平成28年度に純損失を計上した機関が40%であるなど、**ライセンス活動が必ずしも活発ではないTLOが一部存在**。
他方で複数大学との取引により、安定的な収入を得ているTLOも存在。

※TLO: Technology Licensing Organization (技術移転機関)
全国に20機関存在(外部型)

② 取組の方向性

【大学】

知財戦略・技術移転マネジメントの推進、TLO等との効果的連携の推進

【TLO】

技術移転活動の水準向上

【政府】

TLOが存在等の地方における大学の技術移転活動を補完する機能の確保

我が国大学における知財活用の最大化

③ 具体的取組

○大学における戦略の徹底、組織・機能の強化等

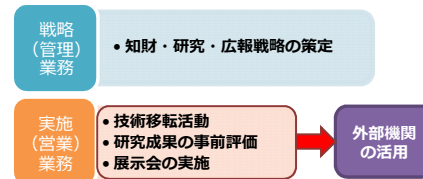
- (i) 効果的な知財戦略・技術移転マネジメントの推進
 - ・経営資源としての**単独特許の確保**
 - ・早期からのマーケティングによる**事業化視点での技術移転活動**

- (ii) 関係機関との有機的連携の推進

・**戦略(管理)業務と実施(営業)業務に応じた実施態勢**

実施(営業)業務は外部機関の活用促進

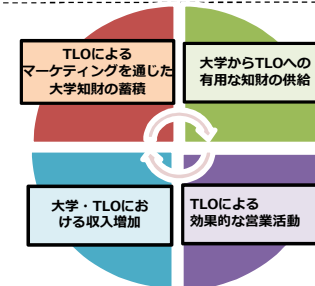
- ア. TLO活用推進
- イ. 大学間連携(URAのクロスアポイントメント)
- ウ. 大学等連携推進法人(仮称)の活用可能性



○大学とTLOとの連携の在り方

【大学側】

- ・TLOの活用^{の検討}
- ・TLOとの**緊密な関係の構築**
(優れた知財の供給、資本参加)

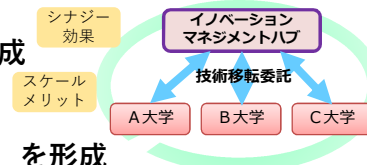


【TLO側】

- ・TLOの**趣旨は技術移転活動**であることの再認識
- ・規模確保のため**複数大学との連携促進**
- ・連携する大学に対応した**専門人材、機動力の充実**

○イノベーションマネジメントハブ(仮称)の形成

- ・TLOの不存在等の地方においては、大学の技術移転活動を補完する**技術移転の拠点(ハブ)**を形成



- ・各地方のハブを更にネットワーク化し、**国内外から高い注目度を有するセンター的拠点を形成**

(コンタクトポイント一元化による産業界の利便性向上、外国からの投資の円滑化を推進)